

文献情報							
表題・資料名							
被覆肥料利用による畑地からの肥料窒素溶脱抑制							
部会	G2	文献ID	R2005	観測ID	S010	公表年	1997
著者名							
松丸恒夫							
収録雑誌名							
日本土壌肥科学雑誌							
巻号	68(4)	ページ	430-434				

地目	
畑地(野菜)	
地目備考	
陸稲(トヨハタモチ) - サトイモ(土垂)	

立地	
ライシメーター	
立地備考	
面積4m2(2×2m)、深さ1.3m(深さ1mまで供試土壌)	

栽培方法	
改善	
栽培方法備考	
改善(被覆硝酸、基肥1回のみで省力化)	

施肥量	
窒素	リン
350	218

施肥特記事項	
被覆硝酸加里100日、熔燐、被覆燐硝酸加里140日	

土壌	土壌群	土壌統群	土性-1	土性-2
黒ボク土	黒ボク土	表層腐植質黒ボク土	L	

土壌備考	
成田市天神峰で採取、作土0~40cm / 下層赤土心土40~100cm、土性はSolphyJから推定	

栽培特記事項	
千葉県農業試験場内ライシメータ(1984年設置)	

全調査期間	計算対象期間開始年月日	計算対象期間終了年月日	調査頻度
1990/7/1~1992/4/30(浸透水採取期間)	1990/7/1	1992/4/30	精密(週1回以上)

調査期間備考	
毎朝9時に浸透水サンプリング(水が10L以上たまったときに)	

降雨時流出負荷の加味	
有	

降雨時流出負荷備考(具体的な回数など)	
1日1回サンプリングだが、全量回収しているので、降雨流出を加味している	

代かき田植え時精密調査	
-------------	--

計算方法			
計算方法	降水		灌漑水
排出負荷			

TN			
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total
0	0	104.1	104
備考			
アンモニア態窒素、硝酸態窒素を分析			

TP			
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total
0	0	0	0
備考			

SS			
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total
0	0	0	0
備考			

有機物				
種類	表面排水	暗渠排水	浸透水	Total
	0	0	0	0
備考				

単位	
量 / 面積	/ 期間
kg/ha	年
計算に用いた具体的日数	数値のみ(日)
1.83年	670
備考	
浸透水サンプリング期間のみを対象に計算	

日本環境学会(2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究  
注: データを引用するには必ず元文献をご確認ください。